

プロスポーツクラブの未来

太成学院大学

長谷川ゼミ1

西 翔太郎 前谷 聖人 川上 隼佑
木村 勇貴 山本 絢音

全体の流れ

- ①緒言
- ②目的
- ③分析
- ③- I 普及期の問題と提言
- ③- II 育成期の問題と提言
- ④課題
- ⑤事例 | セレッソ大阪「ハナサカクラブ」の紹介
- ⑥まとめ
- ⑦参考文献

①緒言

スポーツ界


プロクラブ



B.LEAGUE

明治安田生命Jリーグ
\\ サポーター宣言 \\



 明治安田生命

1.「B.LEAGUE 公式サイト」

2.「J.LEAGUE 公式サイト」

小学生(男子)がなりたい職業

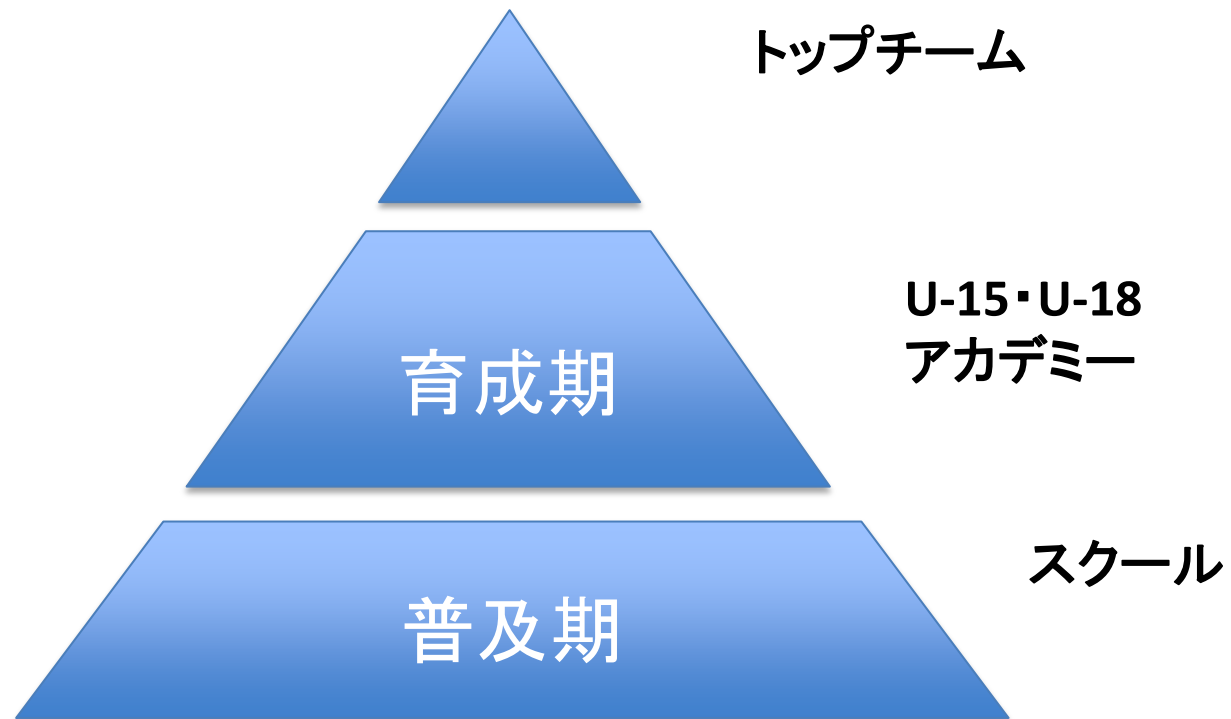
1位 サッカー選手

2位 野球選手
学者・研究者

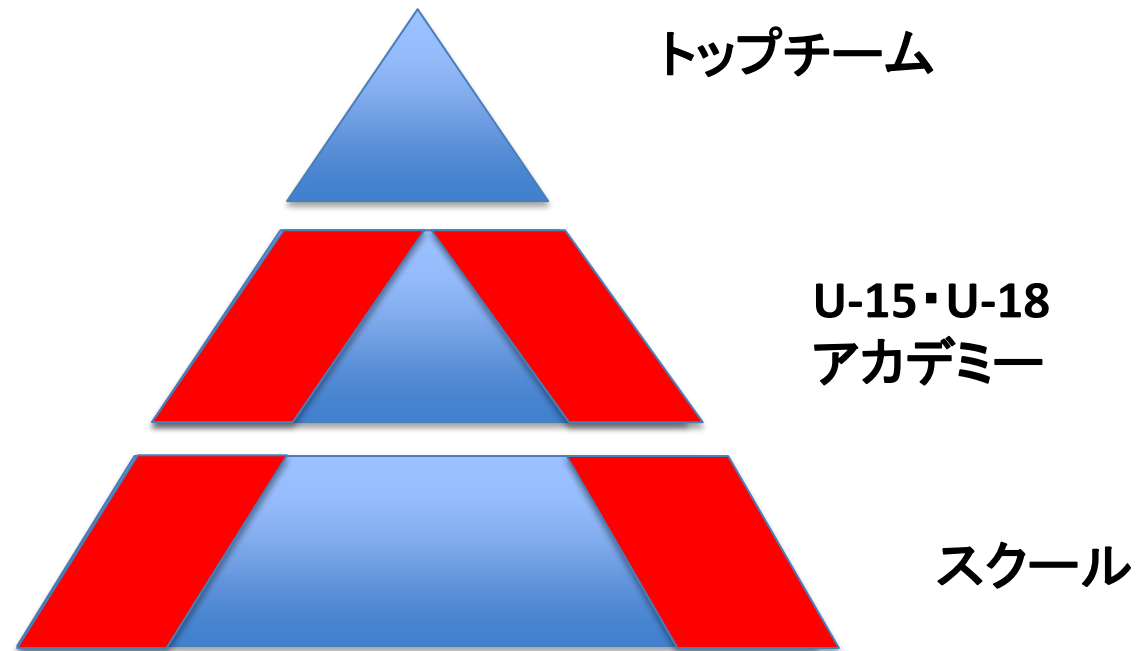
4位 医者

5位 エンジニア

主なプロサッカークラブの育成モデル

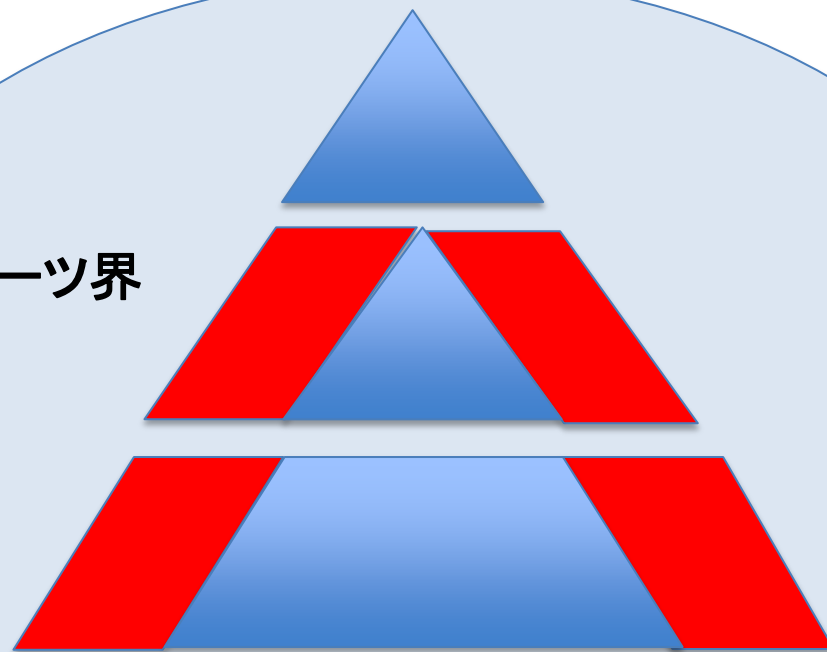


ピラミッド型育成の短所



カテゴリーが上がるにつれて人口が減る

スポーツ界



②目的

スポーツ人口を増やし
スポーツ界の発展に、より貢献できる
プロスポーツクラブの育成モデルを
提言することを目的とする。

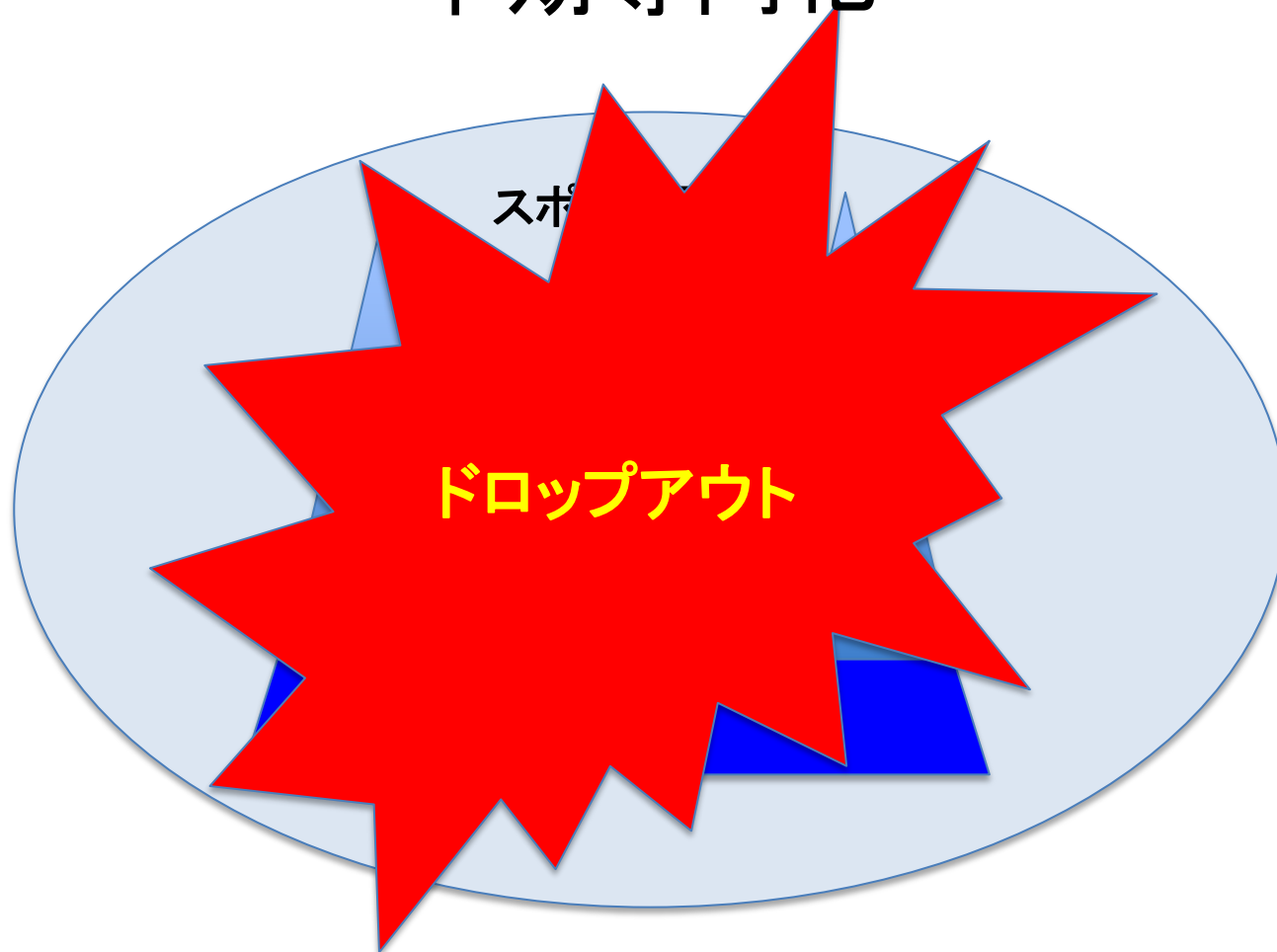
③分析

普及期の問題

育成期の問題

③- I 普及期の課題と提言

早期専門化



しかし、サッカーでは...

過去1年間に1回以上行なった運動・スポーツ種目および推計人口
(2015/男子4～9歳)

男子			
2015年			
順位	実施種目	実施率(%)	推計人口(万人)
1	おにごっこ	65.3	217.2
2	サッカー	54.9	182.6
3	自転車遊び	52.6	174.9
4	水泳(スイミング)	49.0	163.0
5	かくれんぼ	46.0	153.0

過去1年間に1回以上行なった運動・スポーツ種目および推計人口
(2015/男子小学校期、中学生期)

小学生期

順位	実施種目	実施率 (%)
1	サッカー	74.5
2	おにごっこ	66.9
	ドッジボール	66.9
4	自転車遊び	46.5
5	なわとび(名がなわとびも 含む)	45.9

中学生期

順位	実施種目	実施率 (%)
1	サッカー	49.5
2	バスケットボール	35.9
3	おにごっこ	32.4
4	野球	31.0
5	ジョギング・ランニング	29.9

各都府県

巡回指導を行
なっている

フ

団体

セレッソ大阪では

幼稚園、小学校、中学校対象
年間約300回
1万2000人に指導



運動・スポーツ施設の利用率 (男子4～9歳)

男子		
順位	施設の種類	利用率(%)
1	学校や保育園・幼稚園	69.6
2	公園や広場・空き地	60.9
3	(学校以外の)体育館やグラウンド	30.4
4	自分や友達の家	26.8
5	スイミングスクール(スイミングクラブ)	13.4

男子の運動・スポーツ施設の利用 (小学校期、中学校期)

小学校期、中学校期	
順位	施設の種類
1	学校や保育園・幼稚園
2	公園や広場・空き地
3	(学校以外の)体育館やグラウンド

その他にも

湘南ベルマーレ親子 サッカー教室

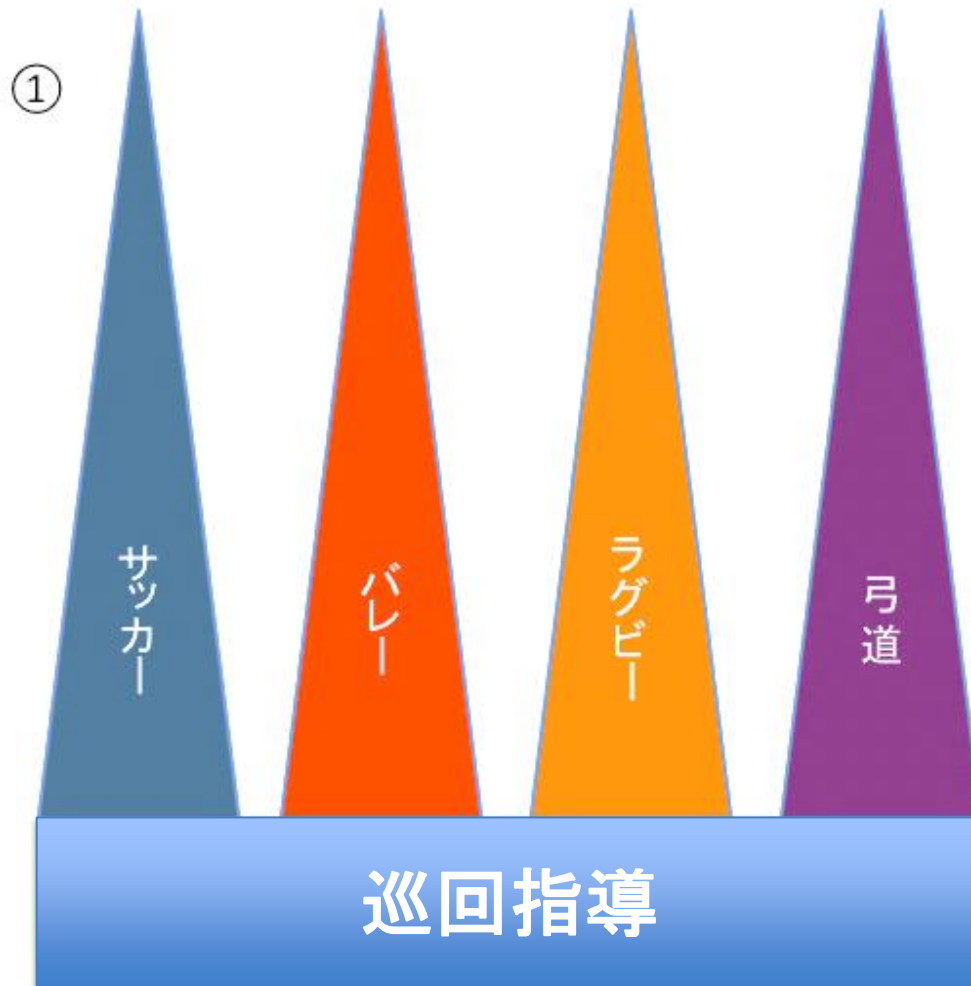


名古屋グランパス 陸上スクール

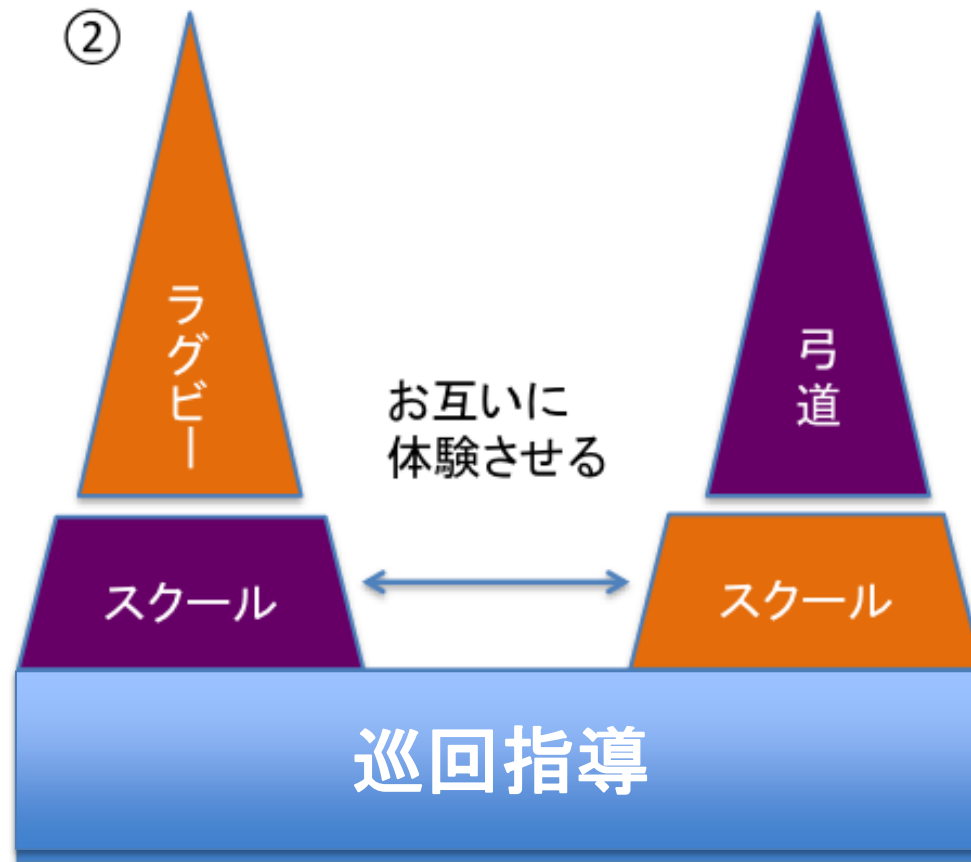
7.「湘南ベルマーレ 公式サイト」

8.「名古屋グランパス 公式サイト」

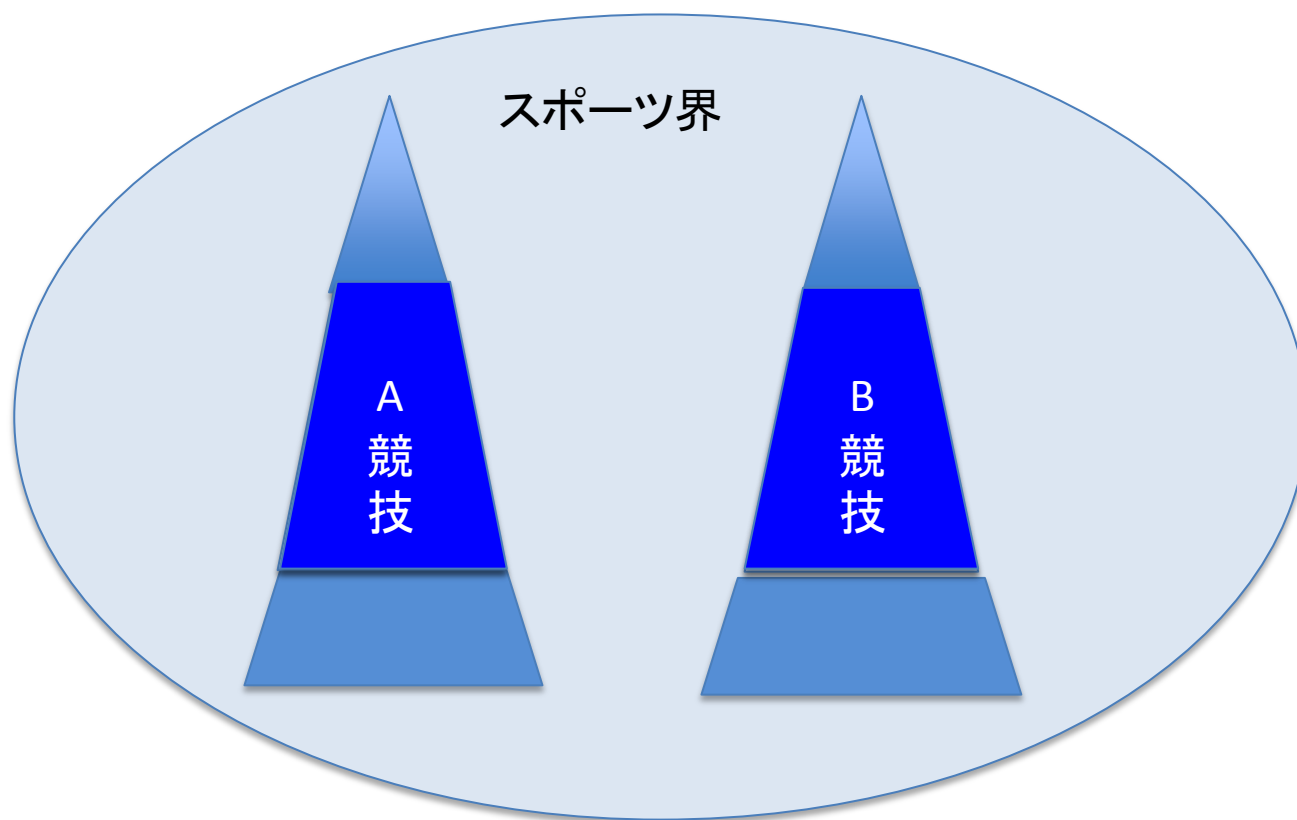
各競技が巡回指導を行なう

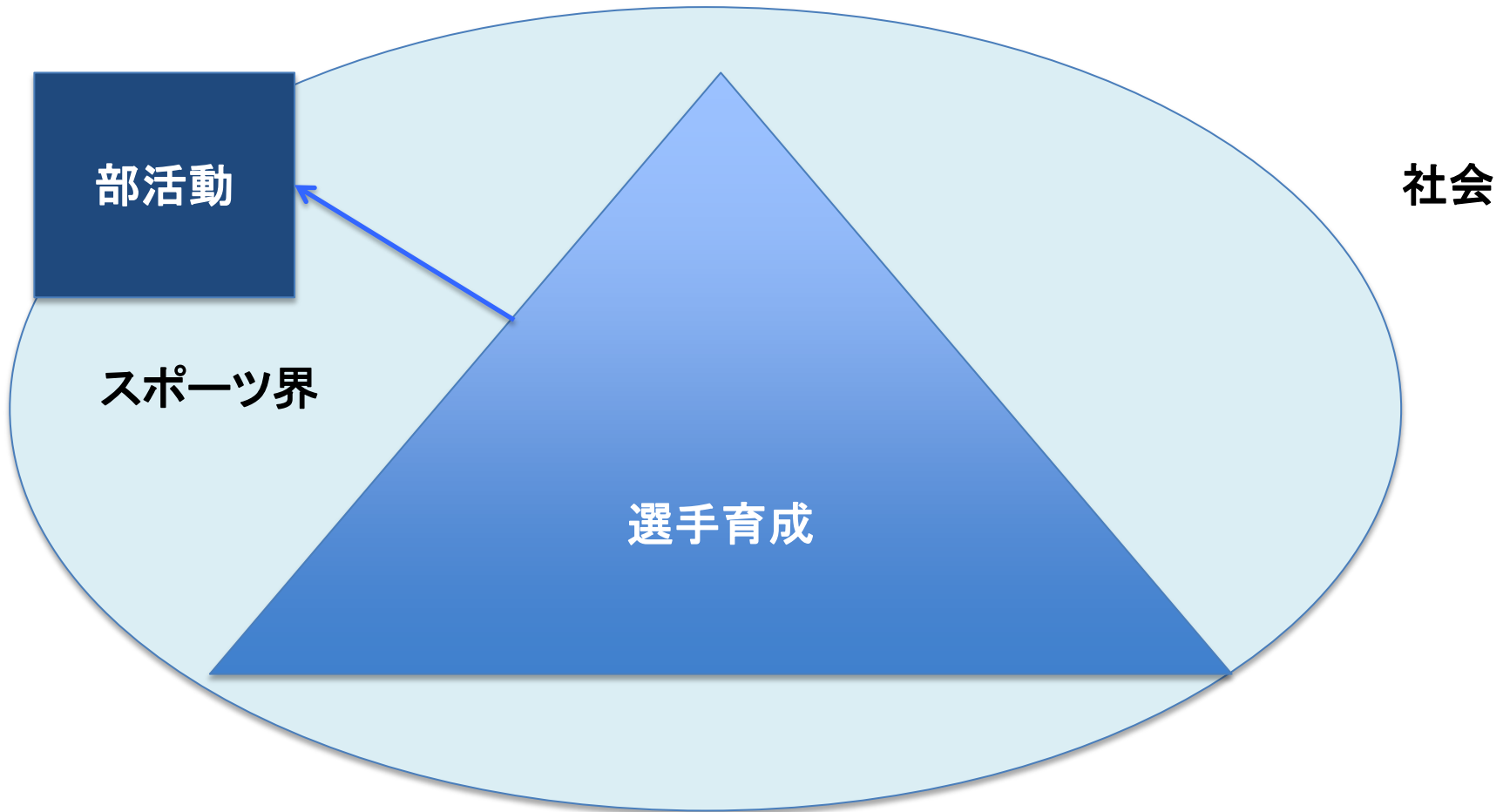


お互いの競技を体験させる



③-Ⅱ 育成期の課題と提言





育成期の問題

部活動が主流の日本

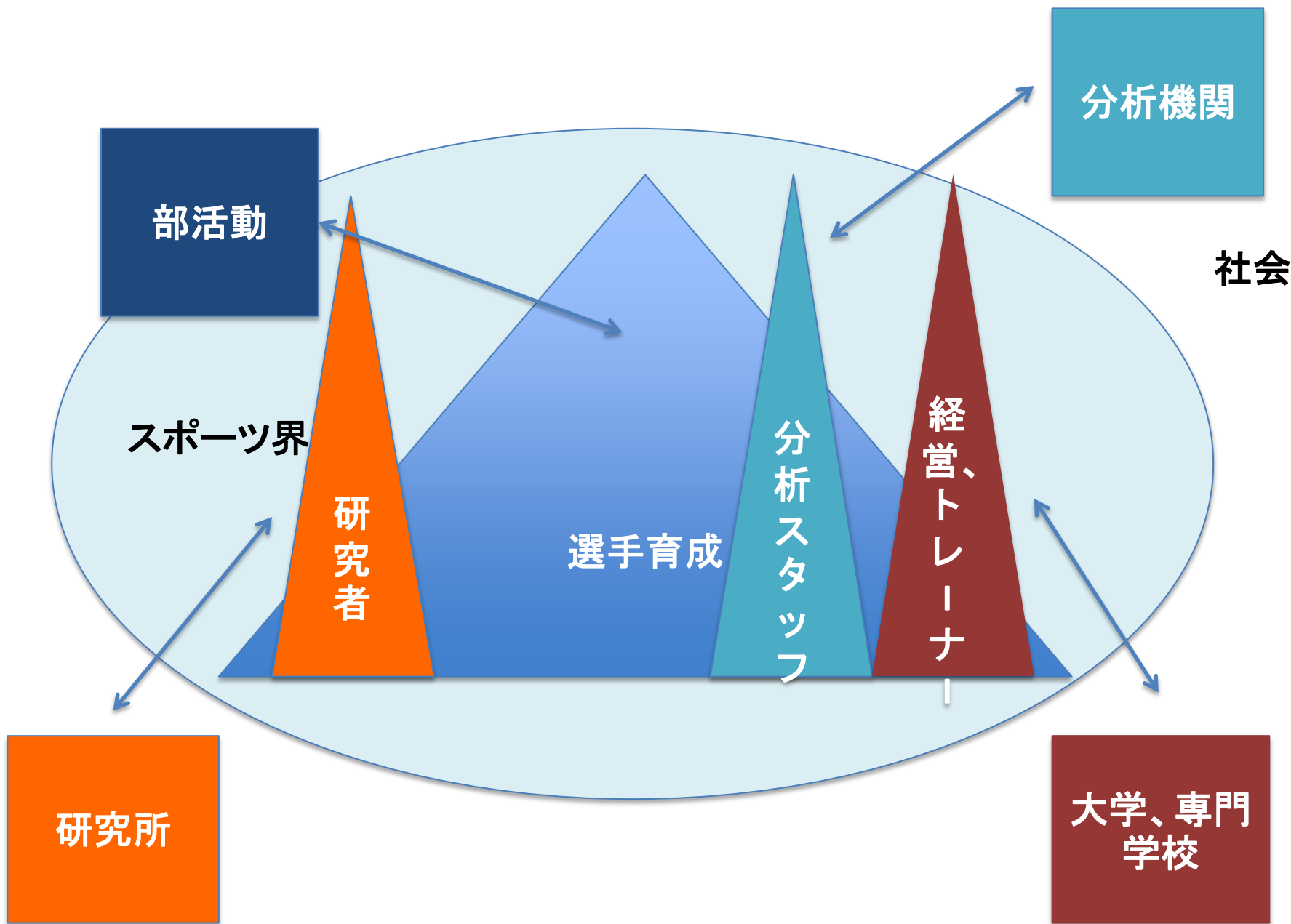
日本中学校体育連盟、全国高等学校体育連盟とともに発表されているサッカーの平成27年度競技加盟者数を調べたところ、下表のような結果となった。

日本中学校体育連盟	246.069人
全国高等学校体育連盟	169.104人

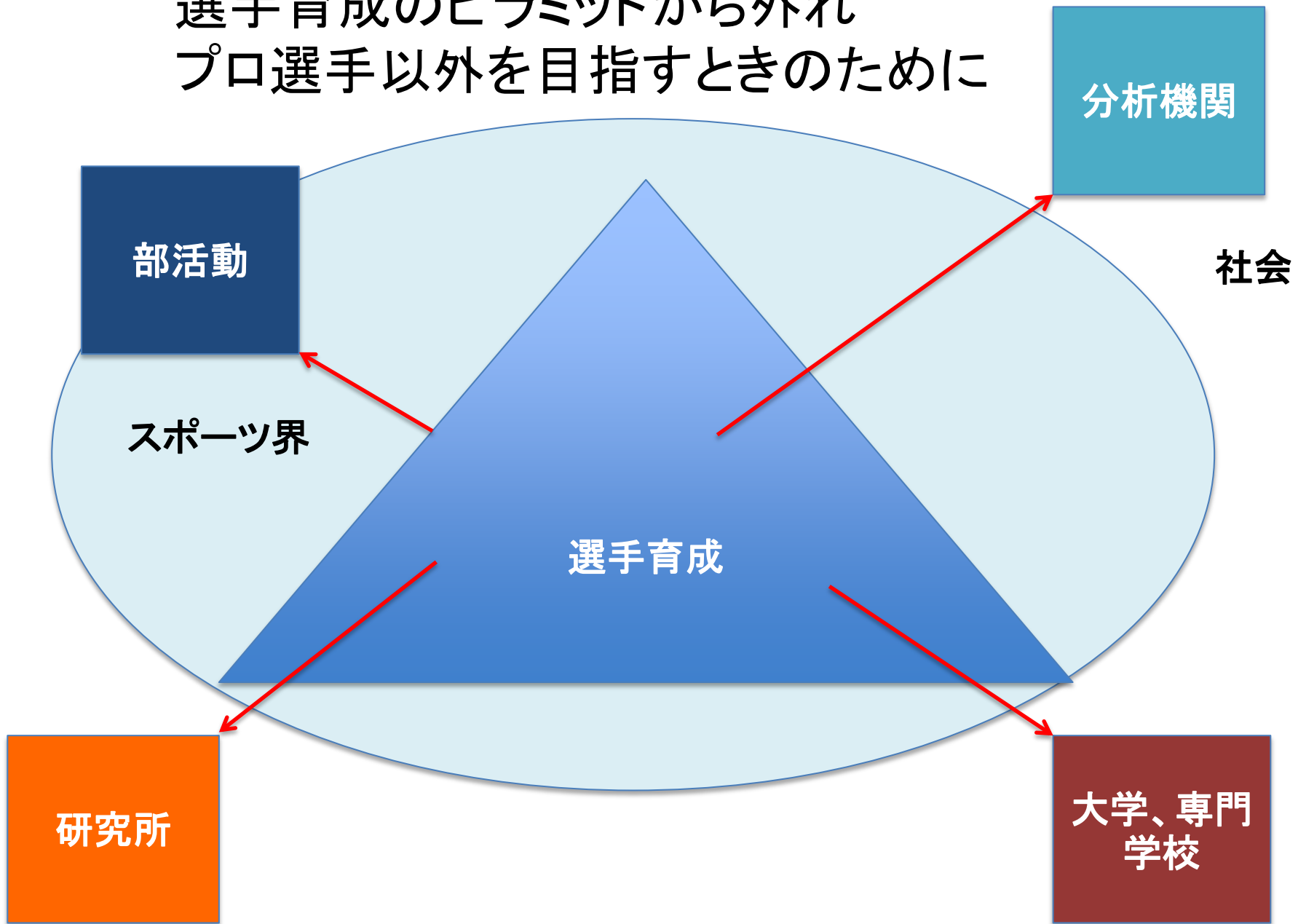
つまり、中学校から高等学校進学で選手が競技から離れていることになる。

9.「日本中学校体育連盟」参照

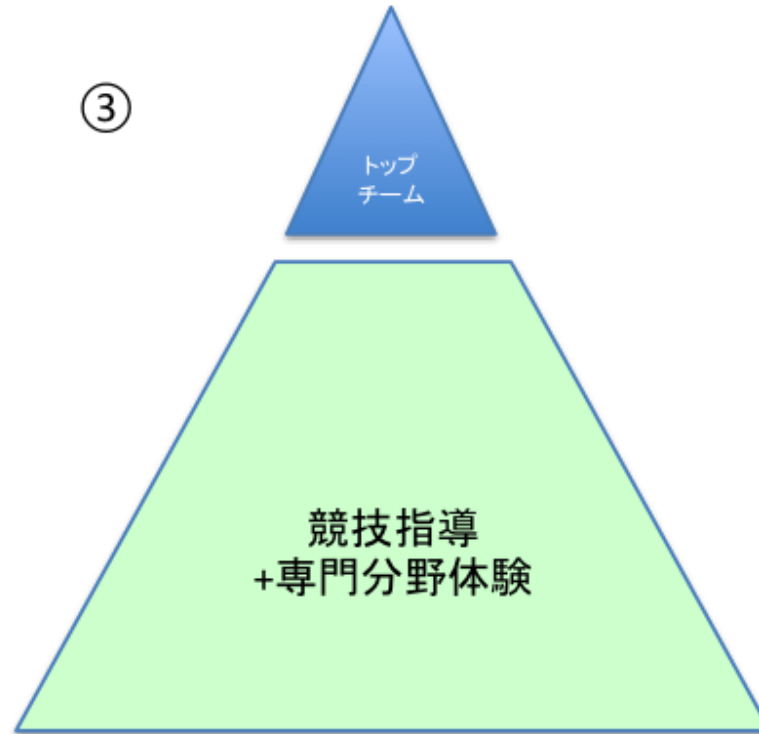
10.「全国高等学校体育連盟」参照



選手育成のピラミッドから外れ プロ選手以外を目指すための



競技だけでなく専門知識も教える



④課題

育成や普及活動にはお金がかかり
収益は見込みにくい



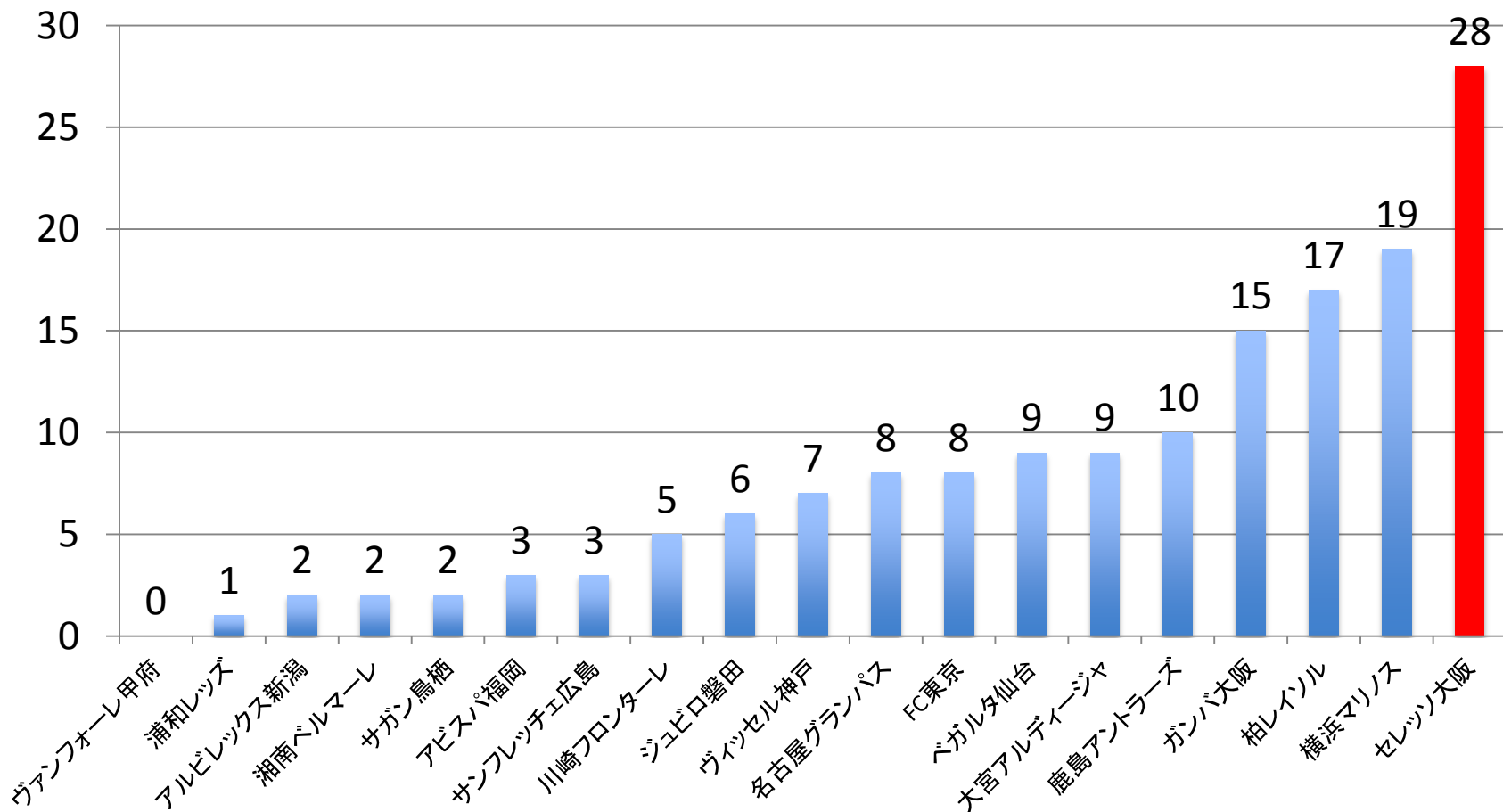
⑤事例 | セレッソ大阪「ハナサカクラブ」



ハナサカクラブ
セレッソ大阪育成サポートクラブ

6.「セレッソ大阪スポーツクラブ」

トップチーム昇格選手在籍者数



ハナサカクラブとは

セレッソ大阪の育成組織（ユース、ジュニアユース、ジュニア、レディース）をサポートすることを目的に設立した、育成サポートクラブ（個人協賛会）です。

6.「セレッソ大阪スポーツクラブ」引用

ハナサカクラブの会費はクラブ運営費とは完全に分けられ、育成組織の活動をサポートするためのみに活用されている。

支援活動

- セレッソカップの主催
- 各カテゴリー海外遠征
- 海外チームの招聘
- U-18・U-15合同キャンプ
- セレッソ大阪ラボ備品購入

主な収入形態

- ハナサカクラブ単体会費
- 年間指定席
- 年間パスポート
- ハナサカプレイヤー（ユニホーム作成）
- ユニフォームオークション

会員実績

	2015年	2014年	2013年
会員数	4304名 (企業)	6524名 (企業)	4101名 (企業)
会費	20,008,520 円	24,382,678 円	16,149,000 円

⑥まとめ

費用を集める

||

支援者(ファン・サポーター)を集める



多くの人を支えるプロクラブ

プロスポーツクラブが
スポーツ界と支援者をつなぐ

⑦参考文献

- 1.「B.LEAGUE 公式サイト」<https://www.bleague.jp>
- 2.「J.LEAGUE 公式サイト」<http://www.jleague.jp>
- 3.「ベネッセ 教育情報サイト」
<http://benesse.jp/kyouiku/201311/20131114-1.html>
- 4.「子どものスポーツライフ・データ 4～9歳のスポーツライフに関する調査報告書」 笹川スポーツ財団
- 5.「青少年のスポーツライフ・データ 10代のスポーツライフに関する調査報告書」 笹川スポーツ財団
- 6.「セレッソ大阪スポーツクラブ」<http://www.cerezo-sportsclub.or.jp>
- 7.「湘南ベルマーレ 公式サイト」<http://www.bellmare.co.jp>
- 8.「名古屋グランパス 公式サイト」 <http://nagoya-grampus.jp>
- 9.「日本中学校体育連盟」<http://www.njpa.sakura.ne.jp>
- 10.「全国高等学校体育連盟」<http://www.zen-koutairen.com>

ご清聴ありがとうございました。